

# 常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 5年 2月 10日(金)

その2 通算 304号

## ◇ バトンを受ける準備

5年生・2か月後の最上級生に向けて

今日の主役は5年生。最上級生の6年生に代わり、学校の代表となって生平小学校に訪問だ。6年生の代役というよりも、タイミングの問題で5年生に担ってもらったわけだが、これが、今後につながるいい方向に展開しはじめている。

今年度から本格的に始まった本校の「清流学習」。R4.6.24 発【常なる磐③〇「流石の最上級生」】の中で紹介したように、もちろん学習の核は6年生だ。

6月に行った学校行事「クリーン作戦」の開会行事で、6年生が発表した「清流・青木川の実態」は、後輩たちの「清流学習」の力強い動機づけとなった。

中でも際立ったのが、6年生の【構成力】・【演出力】・【発表力】の3点。『発表したい』という6年生の前向きな気持ちが聞き手に伝わるのは、発表に表出する気持ちの強さと勢いに他ならない。根源にあるのは、4年生の時から青木川について調べはじめて以降、2年以上学びを積み重ねてきた経験によるものだ。

そして、私自身が6年生の姿を通して改めて気付かされ、学んだことがある。児童の継続した学びのエネルギーが生む【本物の主体性】である。

同じ頃、生平小学校との「オンラインによる環境学習交流」の計画が進行中。本来であれば学校を代表する6年生同士の交流となるが、敢えて5年生を指名。彼らに【2年間の継続した学び&交流】に期待した。

交流相手は生平小の6年生。こちらは入学当初から6年間学び続けてきた生平小の学びの柱である【野鳥学習】。思い入れはさらに深い。学習の刺激は満載だ。

## 令和4年7月19日 生平小学校6年生との環境交流学習スタート



生平小とのオンライン交流は7/19にスタート。学びの活かに火が灯る。

## 青木川の上流(安戸川)の清掃 総合的な学習の時間 (校外体験学習)



体験し、体感することは貴重だ。発言の根拠を生むのはもちろんだが、新しい視点が見つかり、発想が広がる。これがさらなる深い学びへとつながっていく。

## 青木川(学校前)の清掃 総合的な学習の時間 (校外体験学習)



## 社会見学

## 学びのふりかえり



清流学習をすすめてきた5年生は、今日、オンライン方式ではなく、生平小に直接出向いて交流授業。さらに、交流してきた生平小6年生に加え、来年の継続的な交流を見越して生平小の5年生も参加する大所帯に。5年生の舞台は整った。積み重ねてきた学びの成果を、思う存分に発揮してきてくれることだろう。

担任の青木先生から聞いた「いい話」。今日を迎える5年生の小話を紹介。  
『開会式で代表児童の挨拶があり、指名ではなく立候補を募ったんです。誰も出ないかなと心配しましたが、R輝さんからすぐに手が挙がりました。驚きよりも嬉しさが込み上げました』 子供たちは担任の予想を超える速さで成長している。

他にも、授業態度の成長を教頭先生が絶賛するC陽さん。集会の表彰で、呼名に立派な返事で応えたJ奈さんやS太さん。自信をもって行動できるようになったK葉さんとA音さん、気の利くHINAさん、勢いのあるH斗さん。5年生は伸びた力を行動で示している。2か月後は最上級生。これなら何も心配いらない。